

# 令和 3 年度 水道事業・下水道事業会計 決算（速報値）の概要について

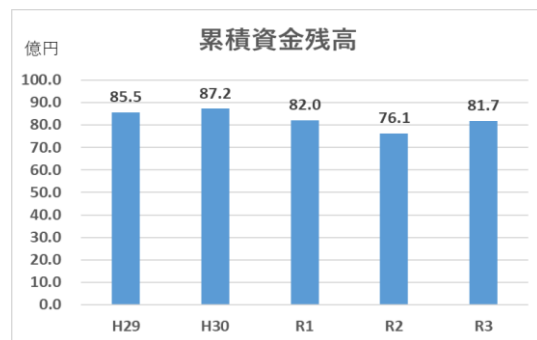
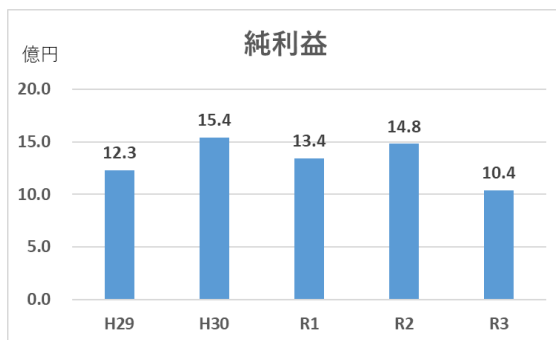
—水道事業 10.4 億円、下水道事業 17.8 億円の純利益を確保—

堺市では、以下のとおり、令和 3 年度水道事業・下水道事業会計における決算（速報値）がまとまりましたので、その概要についてお知らせいたします。

## 1 水道事業会計

純利益については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和 2 年度と比べ約 4.4 億円減の約 10.4 億円となりました。また、累積資金残高については、令和 2 年度と比べ約 5.6 億円増の約 81.7 億円となりました。

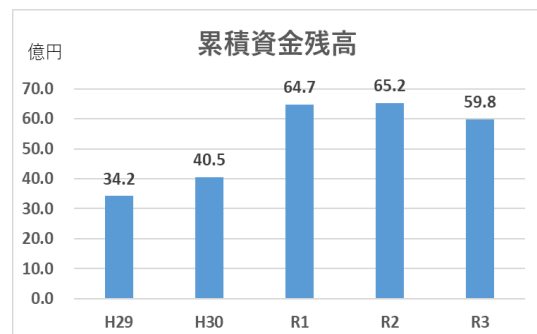
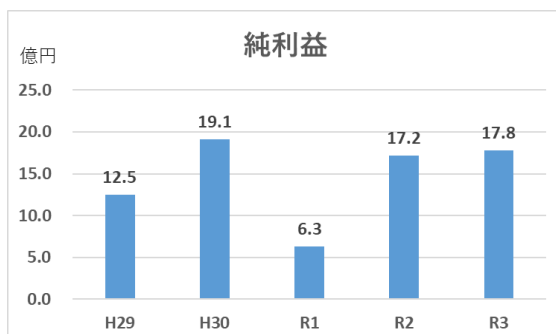
今後、水需要の減少による料金収入の減少が予測されることから、施設規模の適正化や長期的な企業債発行水準の抑制、収支改善策の実行等の経営改革に取り組みます。



## 2 下水道事業会計

純利益については、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、令和 2 年度と比べ約 0.6 億円増の約 17.8 億円となりました。また、累積資金残高については、令和 2 年度と比べ約 5.4 億円減の約 59.8 億円となりました。

今後、水需要の減少による下水道使用料収入の減少が予測されることから、長期的な企業債借入水準の設定による投資と財源のバランスを確保し、施設規模の適正化や収支改善策の実行等、経営改革に取り組みます。



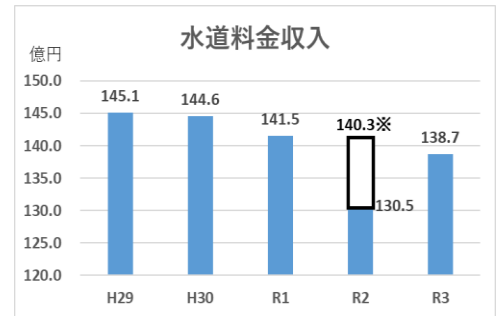
## ○水道事業会計の詳細

・収入面では、新型コロナウイルス感染症の影響により、使用水量が前年度に比べ家事用・業務用合計で約 83 万m<sup>3</sup>減少（△0.9%）したものの、前年度に水道基本料金の 8 割を 4 か月減額したことの影響により、給水収益は前年度に比べ約 8.2 億円増加（+6.3%）【※】した結果、営業収益は約 8.6 億円増加（+6.3%）しました。また、水道料金の減額相当額等の補てんのための一般会計からの繰入金が皆減となり、特別利益が約 10.3 億円減少（△96.3%）しました。

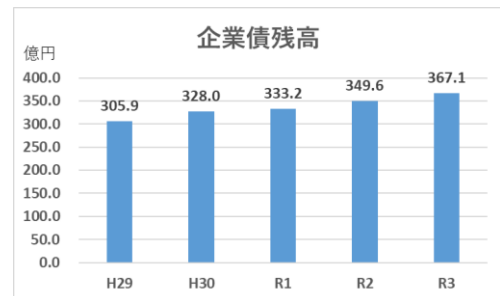
※水道料金の減額を考慮しない場合は前年度に比べ約 1.6 億円減少（△1.1%）となる

・費用面では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた大阪広域水道企業団による、用水供給料金の減免が前年度限りの事業であったことによる受水費の増加、水道施設の老朽化・耐震化のための投資による減価償却費の増加等により営業費用が約 5.2 億円増加（+3.7%）しました。

・投資面では、水道施設の老朽化対策として、目標耐用年数を超えないように事業年度を平準化して施設を更新するほか、市民の安全を守る耐震化対策として重要給水施設へ至る給水ルートの耐震化を行う等、将来に向けた投資を行った結果、企業債残高が約 17.5 億円増加しました。



※水道料金の減額による影響を除いた額



## 決算見込内訳 (速報値)

(単位：千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	増 減
<b>営業収益</b>	<b>13,809,003</b>	<b>14,672,939</b>	<b>863,936</b>
うち給水収益	13,053,029	13,871,066	818,037
<b>営業費用</b>	<b>14,057,075</b>	<b>14,577,161</b>	<b>520,086</b>
うち受水費	6,518,731	6,710,566	191,835
うち減価償却費	3,914,113	4,124,159	210,046
うち施設維持管理費等	2,031,064	2,088,645	57,581
うち人件費	1,593,167	1,653,791	60,624
(うち退職手当)	93,713	133,604	39,891
(うち退職手当以外)	1,499,454	1,520,187	20,733
<b>営業外収益</b>	<b>1,266,581</b>	<b>1,342,897</b>	<b>76,316</b>
うち長期前受金戻入	1,172,256	1,183,843	11,587
<b>営業外費用</b>	<b>509,144</b>	<b>429,796</b>	<b>▲79,348</b>
うち支払利息等	447,593	424,039	▲23,554
<b>経常利益</b>	<b>509,364</b>	<b>1,008,879</b>	<b>499,515</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,068,866</b>	<b>39,232</b>	<b>▲1,029,634</b>
うち固定資産売却益	2,954	37,831	34,877
うちその他特別利益	1,063,724	0	▲1,063,724
<b>特別損失</b>	<b>94,063</b>	<b>6,811</b>	<b>▲87,252</b>
<b>純利益</b>	<b>1,484,168</b>	<b>1,041,300</b>	<b>▲442,868</b>
<b>建設改良費 (税込)</b>	<b>7,652,069</b>	<b>6,095,310</b>	<b>▲1,556,759</b>

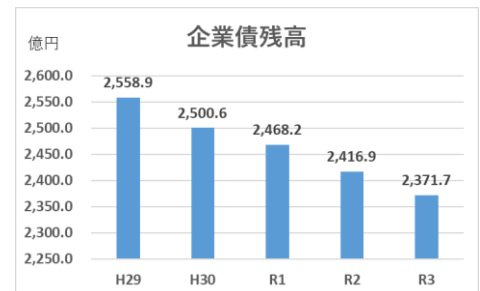
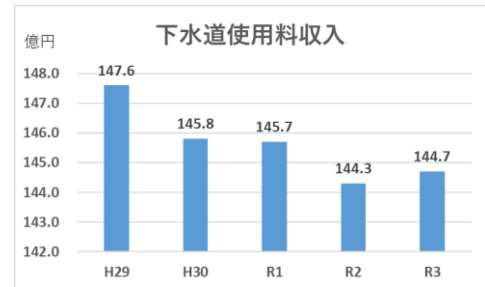
※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていない。

## ○下水道事業会計の詳細

・収入面では、新型コロナウイルス感染症の影響により、使用水量が前年度に比べ家事用では減少したが、使用料単価が高い業務用では増加したことにより、使用水量全体では前年度に比べ約 28 万 $\text{m}^3$ 減少（ $\Delta$  0.3%）したものの、下水道使用料は約 0.4 億円増加（+0.3%）しました。また、一般会計からの繰出金が約 0.7 億円減少（ $\Delta$ 1.0%）したことから、営業収益は約 0.6 億円減少（ $\Delta$ 0.3%）しました。

・費用面では、金利の低下により支払利息が約 3.5 億円減少（ $\Delta$  9.2%）したほか、退職給付費の減少等により人件費についても約 1.0 億円減少（ $\Delta$ 6.0%）しました。

・投資面では、下水道施設の老朽化対策として、施設の点検・調査結果に基づく将来更新量の予測により、平準化して更新投資を行っており、また、浸水対策・施設の耐震化対策として、重点地区・路線を定め、計画的に投資を行った結果、企業債残高は約 45.2 億円減少しました。



## 決算見込内訳 (速報値)

(単位：千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	増 減
<b>営業収益</b>	<b>21,859,608</b>	<b>21,798,213</b>	<b>▲61,395</b>
うち下水道使用料	14,433,863	14,472,936	39,073
うち他会計負担金	7,226,037	7,156,812	▲69,225
<b>営業費用</b>	<b>22,071,947</b>	<b>22,539,845</b>	<b>467,898</b>
うち減価償却費	14,831,296	15,071,870	240,574
うち施設維持管理費等	5,571,056	5,875,222	304,166
うち人件費	1,669,595	1,592,753	▲76,842
(うち退職手当)	130,950	50,606	▲80,344
(うち退職手当以外)	1,538,645	1,542,147	3,502
<b>営業外収益</b>	<b>5,983,095</b>	<b>6,124,998</b>	<b>141,903</b>
うち長期前受金戻入	5,810,472	5,968,044	157,572
<b>営業外費用</b>	<b>3,974,852</b>	<b>3,624,522</b>	<b>▲350,330</b>
うち支払利息等	3,854,314	3,499,576	▲354,738
<b>経常利益</b>	<b>1,795,903</b>	<b>1,758,844</b>	<b>▲37,059</b>
<b>特別利益</b>	<b>56,738</b>	<b>31,277</b>	<b>▲25,461</b>
うち固定資産売却益	33,400	5,389	▲28,011
<b>特別損失</b>	<b>134,643</b>	<b>8,467</b>	<b>▲126,176</b>
<b>純利益</b>	<b>1,717,997</b>	<b>1,781,654</b>	<b>63,657</b>
<b>建設改良費 (税込)</b>	<b>10,076,986</b>	<b>13,337,535</b>	<b>3,260,549</b>

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていない。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：上下水道局 サービス推進部 事業サポート課 電 話：072-250-9108 ファックス：072-250-9146
----------------------------	---